

2009/08/27 知働化



# 新しい知識のカタチ

---

～ 基礎的な考察へ向けて～

株式会社 豆蔵

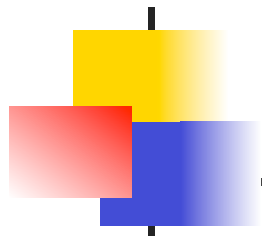
羽生田 栄一



Copyright © 2009 Mamezou Co., Ltd.. All rights reserved.

1





$((A B) C), (A (B C))$

---

■ 新しい知識 のカタチ

■ 新しい 知識のカタチ



# 「知っている」とは何か

## 1. 命題知: **know-that**

- 「xxがyyである」ことを知っている

## 2. 実践知: **know-how**

- 「自転車の乗り」方を知っている

## 3. 存在知: **know-what**

- 「自転車EM-0」「オブジェクト指向」「塩キャラメル」とは何かを知っている

## 4. 感覚知: **know-what-it-is-like**

- 実際にどんな「乗りごこち」「使いごこち」「味わい」か知っている

3. は 1. と4. の混合体？

4. は 2. の一種か？

■ 基本は、1.命題知と2. 実践知 だろう

■ しかし、



# 知識はどこにあるの？

- 個人：頭(脳)の中(個人の能力・スキル)



- 社会：公共の財産(言葉やモノによる伝承)

- いや、どちらともいえない(アホか)
- 主体と環境の相互作用の中で(アフォーダンス)
- 生まれる(\*双発する・創発する)

- 例：イスにうまく座るためのメソッドは？

\*主体も環境もお互いにうまくいくように馴染んでいく・育っていく、というH2用語





# 知識のカタチ

---

- 自分で行う
- ヒトに教える(真似る、子弟関係、文書化、W/S)
- 場が教える(アフォーダンス)
- 道具を作る
- 身体の拡張
- ミームの乗り物としての人間
- その先へ？



# 3 + 1つのファクター

## ■ 型 (プロトパターン)

- やり方をカラダで覚える、カラダに型を覚えさせる
- 道具というモノを通して、やり方をやり型にする

## ■ 身体の拡張 (プロトコミュニティ)

- 道具や言葉、文字、理論が自分の身体 (感覚・能力) を拡大する

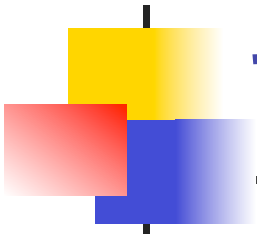
## ■ 概念化、体系化 (パターン)

- 言葉、概念、理論によって現象ややり方の説明を組織化する

## ■ 社会化 (パターンランゲージによるコミュニティづくり)

- 1:1 真似して学ぶ、やって見せて教える、言葉やメソッドで教える
- 1:n 道具を作ってそれを広めていく
- M:n 分業する、道具を組み合わせる、学校を作る



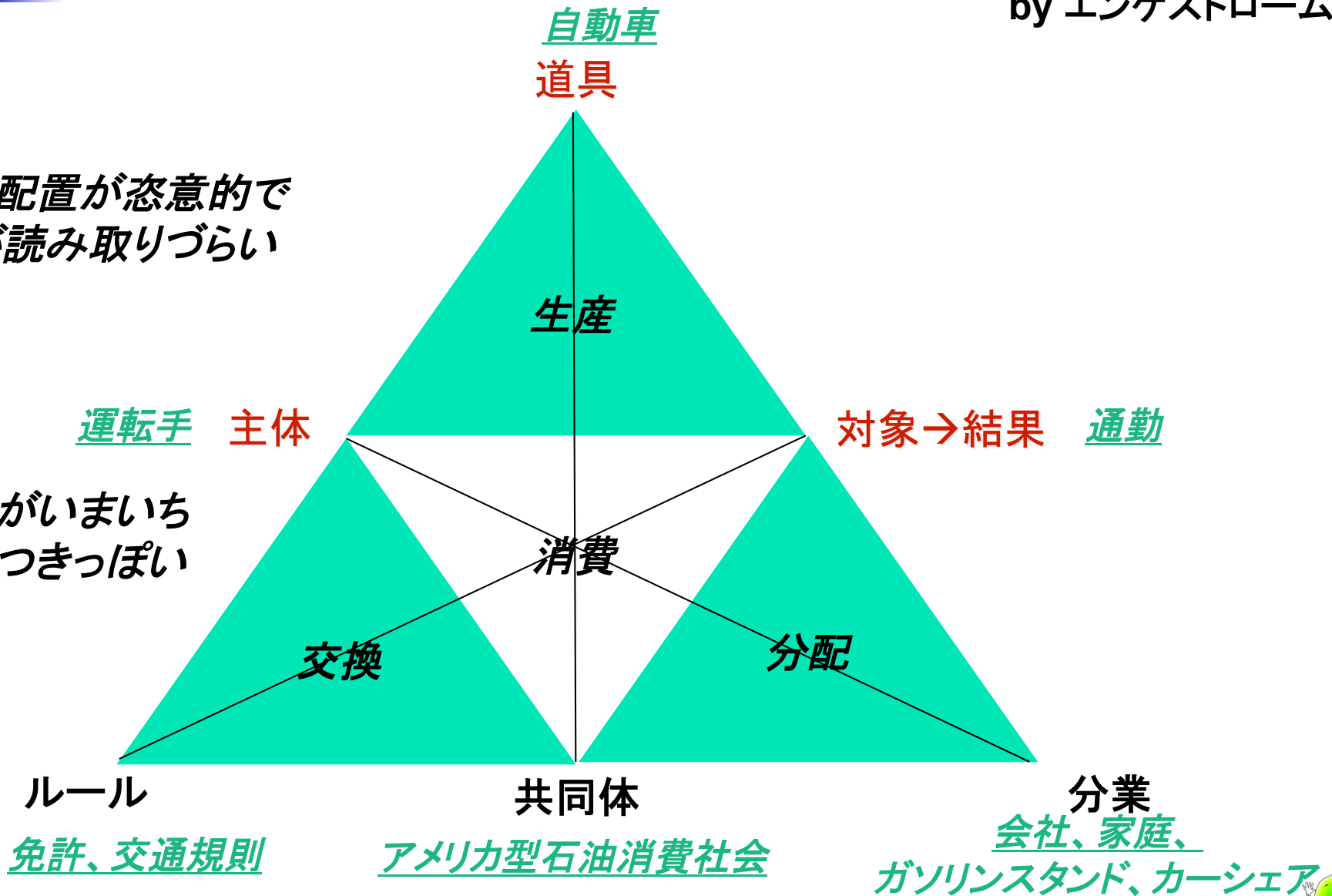


# アクティビティ理論：拡張による学習

by エンゲストローム

概念の配置が恣意的で  
意図が読み取りづらい

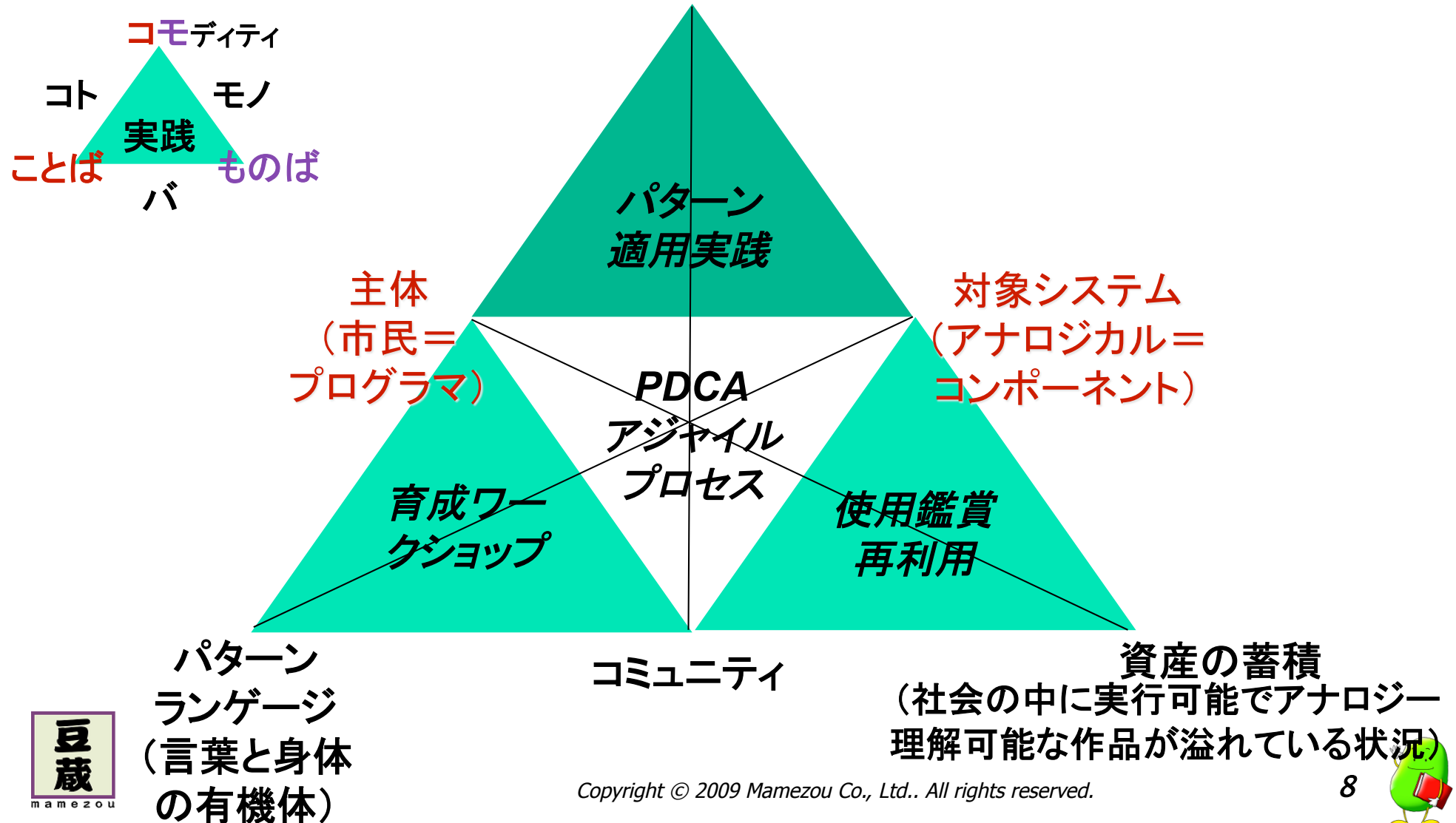
下半分がいまいち  
？思いつきっぽい



# 新3x3理論:

## SWのパターン実践社会化プロセス

パターン(工夫・ツール・理論)





# △定理：世界とは△することである

- △とは、もの・こと・ば の有機的な結合である。
- △とは、参画である。

## State of Affairs as a commodity

